

1 ワークショップの取り組み方

- ・4月、6月、10月、12月と年4回スマイルワーク(パパママワーク)を実施
- ・参加者は平均5人程度
- ・リサイクルイベントや絵本の読み聞かせ等の行事とタイアップし開催している
- ・運営は社協スタッフが行い、補佐として児童相談所専門員が関わる。



2 6月29日ワークショップの様子(参加者4名)

【運営の様子】

スタッフ…全体進行役(社協スタッフ)、小グループ進行役(児童相談所専門員)
託児ボランティア有・無(2名) 児童相談所専門員

活動の流れ(60分)

- ① アイスブレイク・・・自己紹介をかねたアイスブレイク「実は〇〇なんです。」
- ② 話し合い活動
 - ・パパ・ママワークのシートを活用し、3分程でシートに記入する
 - ・順番に発表しながらフリートーク形式でそれについての話し合いをする
- ③ 振り返り
 - ・ワークショップでの気づきや学びを出し合う

【参加者の感想】

- ・もっと早くからこういったことがあればよかった。
- ・出かける場がないのでよかった。
- ・引っ越ししてきたので友達作りによかった。
- ・集まる場があって有難い。情報交換ができた。



3 スタッフの感想(振り返りや今後に向けて)

- ・少子高齢化が進み、近辺に子育て中の親が少ない状況であるため、参加者も少ないが、思いを出し合う時間も充実し話に深みが出るので、保護者同士のつながりもできて、終了後の参加者の表情も非常に良いです。
- ・まだ、スマイルワーク(パパママワーク)が知られていない側面もあるので、子育て中の保護者が気軽に参加できるような雰囲気づくりや広報活動を進めていきたいです。
- ・リユース広場への参加者は安定して10人以上が集まるが、パパ・ママになると帰ってしまう人が多い。場所を変えることがハードルを高くしているかもしれないので12月はお茶会としてクリスマス会をそのままの場所で行う。参加者もその方が多く今後パパ・ママの形式を参加しやすいものに変えていく事を考えている。
- ・保護者が集まりやすいサークル的なものも必要なのか検討中。